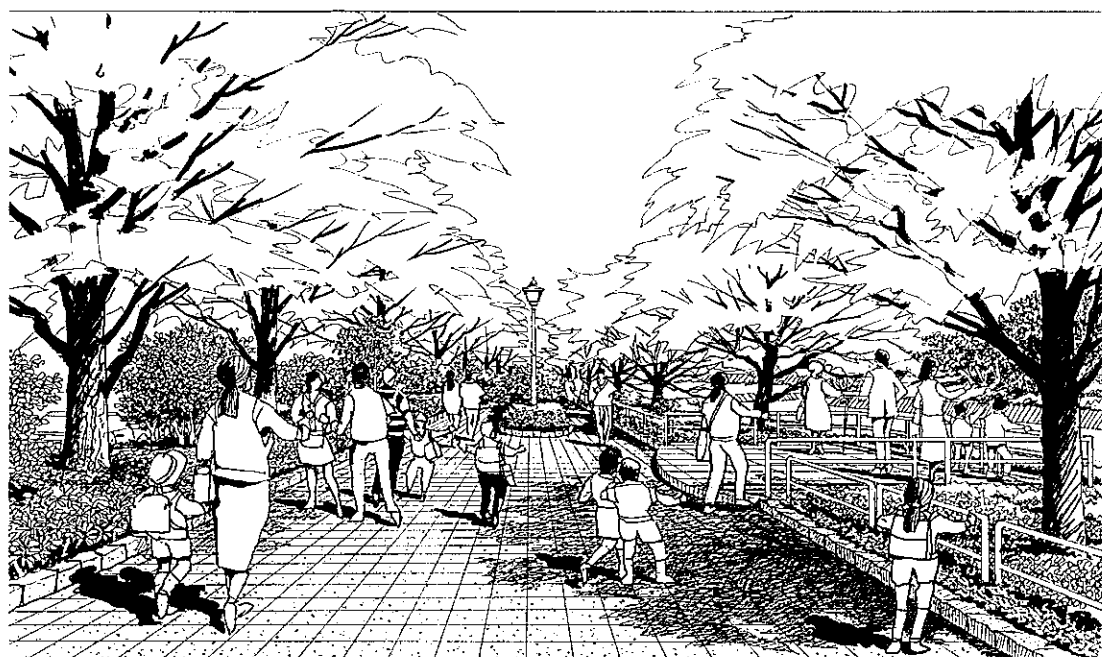


区の花さくら再生計画 (概要版)



㊦ 千代田区

巻頭言

区の花さくら協議会座長 近藤 三雄

「区の花さくら再生計画」は都市再生を、さくらを基軸として、推進していこうとするものとも言える。さくらの持っている明るく華やかな形姿を、現状の都市施設や町並みと共存した形で、再生を図っていこうとするものである。

しかし、都市の環境は、さくらの街路樹をとってみても、狭い植栽枠で根の伸長が制限される等、さくらの生育環境としては厳しく、このままでは、さらなる樹勢の低下も予測される。さくらの健全生育を図り、都市景観の向上に寄与させるためには、専門的な知恵と技術と相応の予算措置による計画的な管理が必要となる。

また、本計画を推進する上で、多くの市民の声を吸い上げ、その実施に当たっては、市民の文化的活動にまで昇華させることが望まれる。

なお、「区の花さくら再生計画」は、今ある老朽化したさくらの再生計画であるが、今後は、新たなさくら景観の創出に努め、「景観緑三法」の制定を受け、都市の景観美がますます重要視される時代にふさわしい、都市づくりに邁進していくことが強く求められる。

千代田区長 石川 雅己

古来から、さくらは、私達の暮らしの傍にあって、美意識を育むとともに、多くの人に愛され、親しまれ、日本人の固有の文化として継承されてきたと考えています。

区内にも約三千本のさくらがあり、春の訪れとともに、千鳥が淵界限や外濠沿いのさくら並木に、毎年 70～80 万の人が訪れ、賑わっています。千代田区は全国でも有数なさくらの景勝地で、昭和 59 年には区の花にも指定されています。

この、さくらの花の多くが、老齢化や生育環境の変化等で、樹勢の回復や更新・補植が必要な状態にあるため、「区の花さくら協議会」を立ち上げ、区民・有識者等から貴重な意見を頂いて「区の花さくらの再生計画」をまとめたところです。

また、再生計画を推進するため、公益信託を活用して、(仮称)「千代田区さくらファンド」を設けるとともに、区の方や花見に訪れる方、企業及び国や都等のさくら管理者等が、さくらをサポートするための活動の場を設け、区の花さくらを後世の人達に引き継いで行く所存です。

おわりに、本計画の策定に当たり、ご協力頂きました「区の花さくら協議会」の皆様、関係者の皆様に心から感謝申し上げます。

目 次

巻頭言

1. 区の花さくら再生計画の理念と運営の仕組み	2
1) 区の花さくら再生計画の理念	2
2) 再生指標としての「さくら憲章」と運営の仕組み	2
2. さくらの現状と問題点	5
1) さくらの生育状態	5
2) 生育傷害の要因と問題点の整理	6
3) 対策・さくらの育成管理	7
3. エリア別再生指針.....	10
1) 千鳥ヶ淵周辺	12
2) 北の丸公園	13
3) 靖国神社周辺	14
4) 江戸城外濠の土手筋.....	15
5) 清水谷公園周辺	16
6) 東郷元帥記念公園	17
7) 日枝神社周辺	17
8) 皇居北縁部周辺	18
9) 神田明神周辺	19
10) 日比谷公園	19
4. 重点地域整備計画とさくら景観の将来像	20
1) 千鳥ヶ淵周辺	20
2) 靖国神社周辺	22
3) 江戸城外濠の堤塘地	24
5. さくらの品種と特徴について	26